

市民ワークショップについて

1. 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会・ワークショップの関係

北杜市中部横断自動車道活用検討委員会

- ・ワークショップの手法について審議
- ・ワークショップから提案された道路プラン、市民の取組プラン等の意見(結論)について審議・確認・補足する。
- ・結果を北杜市長に報告する。

○主な審議事項

- ・ワークショップの進め方(枠組み)
- ・ワークショップの回数
- ・ワークショップのテーマ
- ・ワークショップでの検討結果の審議 等

検討方針
提示

検討結果
報告

広報活動

(広報誌、回覧、ハガキ、HP等)

ワークショップ

専門性・実効性

関係者ワークショップ (公募)

- ・産業、観光などの専門知識を持った方がアイデアを出す。
- ・今後の市の産業・活動を担う世代が、責任を持って考えを述べる。

一般性

市民ワークショップ (無作為抽出)

- ・関係者ワークショップで出された様々な意見や対応案などについて一般的な立場としての市民が議論し、考えを述べ、補足や追加意見を述べる。
- ・ワークショップとしての意見をよりよくするために実施

情報発信

意見提出

地域住民

※:関係者ワークショップ、市民ワークショップに優劣はない。

2. 市民ワークショップの概要

市民ワークショップ

◆開催日時 平成27年2月15日(日) 午前9時～午後4時

◆参加者(無作為抽出市民)

北杜市民の住民基本台帳等から15歳以上の方を無作為抽出し、参加に同意していただいた方、及び高校生。

◆参加人数

50名(仮)

◆討議内容

関係者ワークショップで出された様々な意見などについて一般的な立場として議論して考えを述べ、補足や追加意見を述べてもらう。

◆進め方

5～6名のグループ毎に議論し、テーマが変わるごと(1、2時間毎)にメンバーを入れ替える。(意見の常識化、視野の広がり)